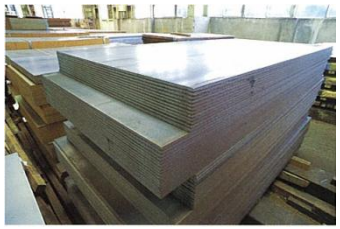
2026年12月期
第2四半期（中間期）決算説明会


清和中央ホールディングス




2026年8月

経営環境

・全般的に好調なインバウンド需要の効果もあり、個人消費を中心に回復基調であるが低水準であった

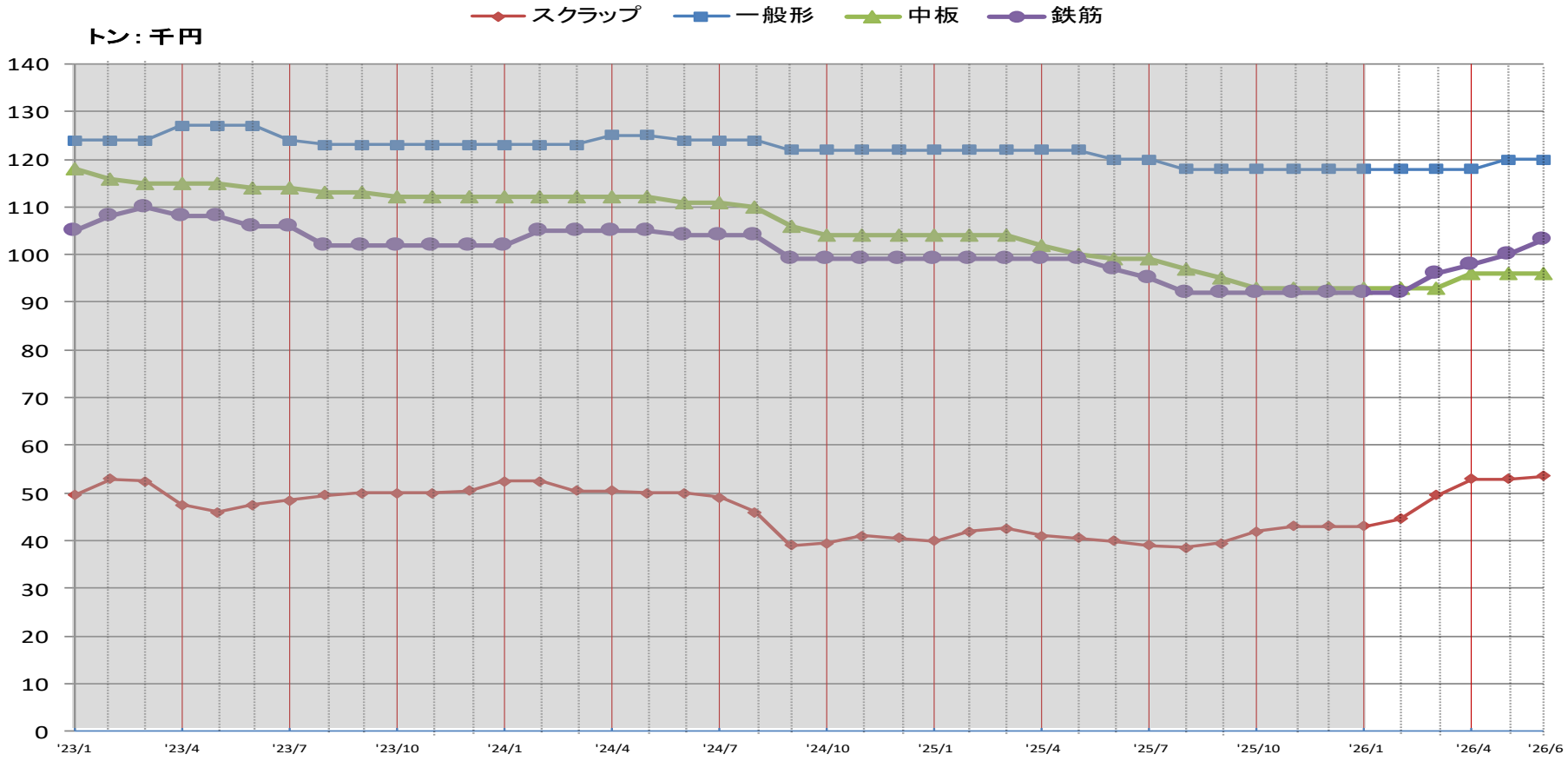
・製造業に関しては、中東情勢に伴う資材価格上昇はあるが、海外景況の改善もあり、一部業種に底打ちの兆しが見られた

・建設業界に関しては、建設費の高騰・人手不足の問題等により、まだ落ち込みが続いた

・その結果、国内鉄鋼需要は、前年を若干ながら下回る状況となった

鋼材市況

原材料価格等の値上げにより、昨秋以降メーカー値上げは継続しているが、鉄鋼内需低調の中、流通業者間での販売競争が更に激化。市中価格はメーカー値上げ分の販売価格への転嫁不足が続いている



グループ収益

①加工の収益改善対策（プラス要因）

②鋼材値上げに伴う販売スプレッド効果（プラス要因）

③販売数量の減少（マイナス要因）

④中央鋼材の鉄骨加工・加工品受注・完工の大幅減少（マイナス要因）

前年比で増益達成ではあるが、期初予想を下回る水準となった

個別業績【子会社：清和鋼業】

	2024年 第2四半期	2025年 第2四半期	2026年 第2四半期	前期比	
				増　減	増減率
千トン 売上数量	92	89	87	△2	△2.4 %
百万円 売上金額	14,403	12,829	12,493	△336	△2.6 %
百万円 営業利益	153	113	215	102	90.9 %
百万円 経常利益	210	173	273	100	58.3 %
百万円 税前利益	210	173	273	100	58.3 %
百万円 中間純利益	135	107	180	72	67.4 %

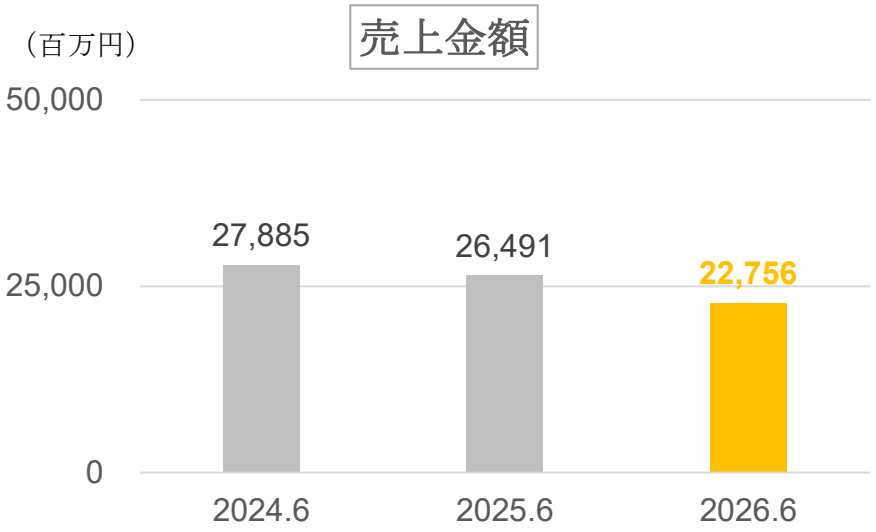
個別業績【子会社：中央鋼材】

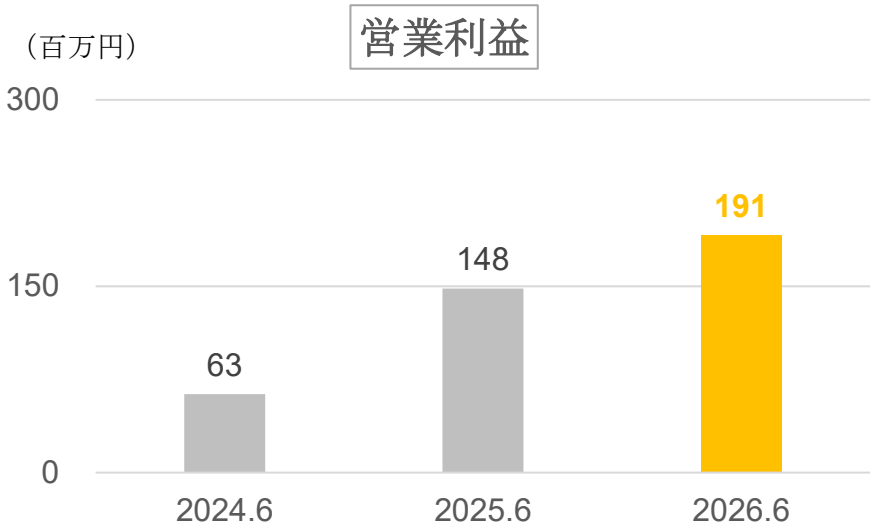
	2024年 第2四半期	2025年 第2四半期	2026年 第2四半期	前期比	
				増　減	増減率
千トン 売上数量	75	71	60	△10	△14.5 %
百万円 売上金額	13,453	13,616	10,215	△3,400	△25.0 %
百万円 営業利益	△130	△42	△85	△43	－ %
百万円 経常利益	△122	△30	△78	△48	－ %
百万円 税前利益	△123	△30	△79	△48	－ %
百万円 中間純利益	△124	△31	△79	△48	－ %

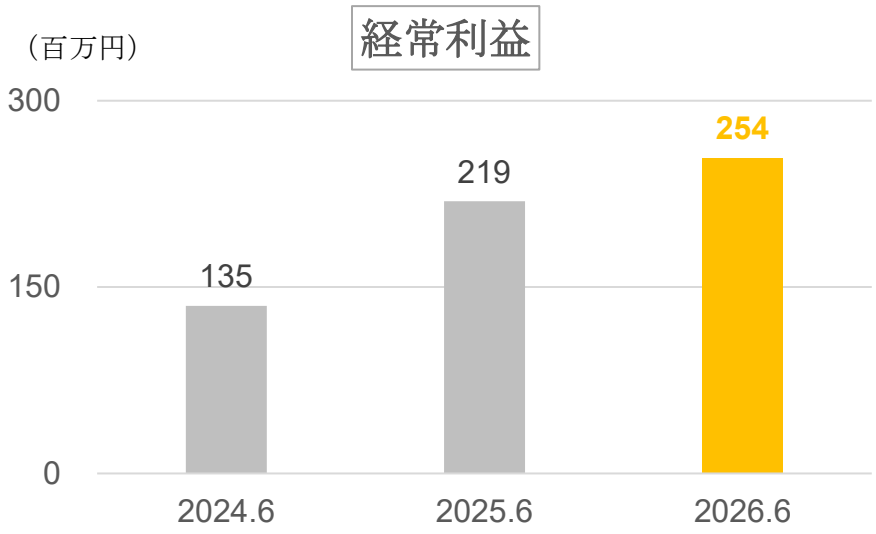
連結業績

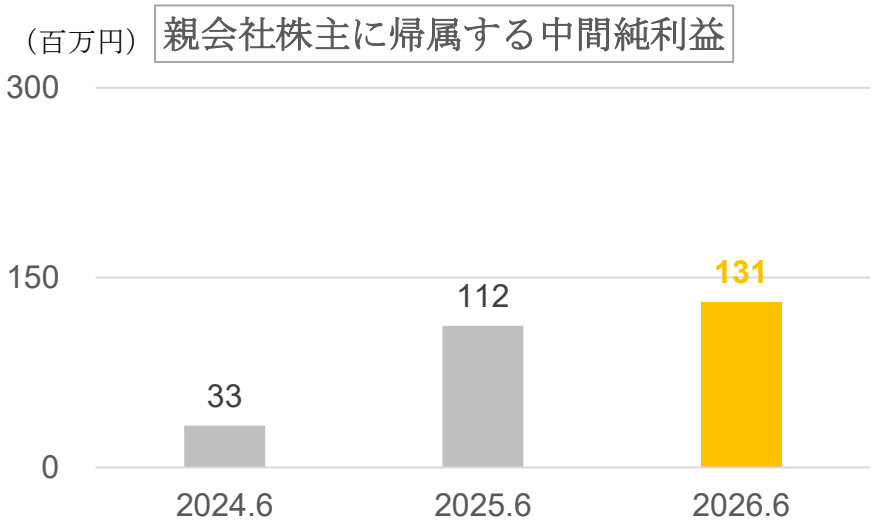
	2024年 第2四半期	2025年 第2四半期	2026年 第2四半期	前期比	
				増　減	増減率
千トン 売上数量	168	160	148	△12	△7.5 %
百万円 売上金額	27,885	26,491	22,756	△3,735	△14.1 %
百万円 営業利益	63	148	191	42	28.7 %
百万円 経常利益	135	219	254	34	15.9 %
百万円 税前利益	134	219	253	34	15.7 %
百万円 親会社株主に帰属する中間純利益	33	112	131	19	17.1 %

経営成績推移（連結）


（百万円）
売上金額
50,000
25,000
0
27,885
26,491
22,756
2024.6
2025.6
2026.6


（百万円）
営業利益
300
150
0
63
148
191
2024.6
2025.6
2026.6

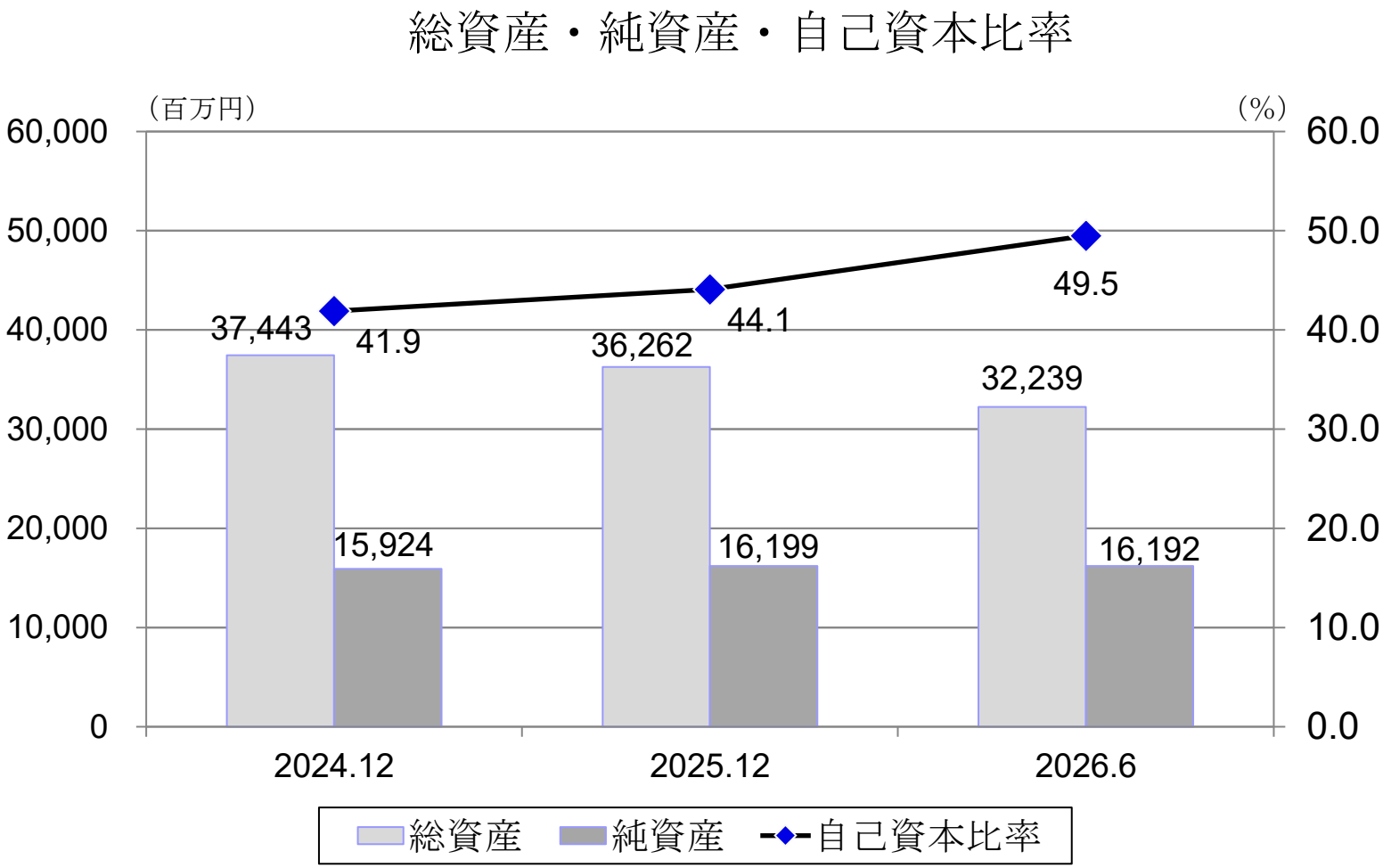

（百万円）
経常利益
300
150
0
135
219
254
2024.6
2025.6
2026.6


（百万円）
親会社株主に帰属する中間純利益
300
150
0
33
112
131
2024.6
2025.6
2026.6

連結財政状態

	2024年 12月期	2025年 12月期	2026年 **第２四半期末**	前期比	
				増　減	増減率
百万円 流動資産	26,505	25,727	21,967	△3,759	△14.6 %
百万円 固定資産	10,937	10,535	10,271	△263	△2.5 %
百万円 資産合計	37,443	36,262	32,239	△4,023	△11.1 %
百万円 流動負債	19,679	18,186	14,159	△4,026	△22.1 %
百万円 固定負債	1,840	1,876	1,886	10	0.5 %
百万円 負債合計	21,519	20,063	16,046	△4,016	△20.0 %
百万円 純資産合計	15,924	16,199	16,192	△6	△0.0 %
自己資本比率	41.9 %	44.1 %	49.5 %		

財政状態推移（連結）


総資産・純資産・自己資本比率
（百万円）
（%）
60,000
50,000
40,000
30,000
20,000
10,000
0
60.0
50.0
40.0
30.0
20.0
10.0
0.0
37,443
41.9
15,924
36,262
44.1
16,199
32,239
49.5
16,192
2024.12
2025.12
2026.6
総資産
純資産
自己資本比率

1株当たり情報

	2024年 第２四半期	2025年 第２四半期	**2026年 第２四半期**
円 １株当たり中間純利益	**8.52**	**28.63**	**33.52**
	2024年12月期	2025年12月期	**2026年 第２四半期**
円 １株当たり純資産	3,991.22	4,061.38	**4,061.24**

今後の見通しについて

・鉄鋼内需に関し、製造業はやや底打ちするも改善幅は緩やかと予想、一方建設業界は低調が続くと予想

・鋼材価格はメーカー値上げ終息へ
販売スプレッド改善は見られるものの、転嫁の動きは緩慢続く見込み

・鉄骨加工・加工品受注・完工ともに、想定以上に厳しい環境が続く

個別業績予想【単体：清和中央ホールディングス】

	2024年12月期	2025年12月期	2026年12月期予想	前期比	
				増　減	増減率
百万円 営業収益	825	832	804	△28	△3.4 %
百万円 営業費用	535	526	505	△21	△4.1 %
百万円 営業利益	289	305	299	△6	△2.2 %
百万円 経常利益	292	307	300	△7	△2.4 %
百万円 税前利益	292	307	300	△7	△2.4 %
百万円 当期純利益	259	259	267	7	2.7 %

個別業績予想【子会社：清和鋼業】

	2024年12月期	2025年12月期	2026年12月期予想	前期比	
				増　減	増減率
千トン 売上数量	177	178	186	7	4.1 %
百万円 売上金額	27,377	24,957	26,927	1,969	7.9 %
百万円 営業利益	236	203	326	122	60.0 %
百万円 経常利益	334	306	424	117	38.3 %
百万円 税前利益	334	306	424	117	38.3 %
百万円 当期純利益	221	196	284	87	44.4 %

個別業績予想【子会社：中央鋼材】

	2024年 12月期	2025年 12月期	2026年 12月期予想	前期比	
				増　減	増減率
千トン 売上数量	138	141	146	4	3.4 %
百万円 売上金額	24,008	24,982	24,288	△694	△2.8 %
百万円 営業利益	△434	73	4	△69	△94.6 %
百万円 経常利益	△418	91	10	△81	△89.1 %
百万円 税前利益	△422	90	10	△80	△89.0 %
百万円 当期純利益	△390	87	9	△78	△89.7 %

連結業績予想

	2024年12月期	2025年12月期	2026年12月期予想	前期比	
				増　減	増減率
千トン 売上数量	314	318	330	11	3.5 %
百万円 売上金額	51,471	50,026	51,000	973	1.9 %
百万円 営業利益	△99	400	440	39	9.9 %
百万円 経常利益	18	518	540	21	4.2 %
百万円 税前利益	14	517	540	22	4.3 %
百万円 親会社株主に帰属する当期純利益	△101	348	360	11	3.4 %

清和中央ホールディングス

鉄鋼流通を通じて、社会インフラと産業活動を支える企業グループ



証券コード　7531

東証スタンダード / 福証 / 札証

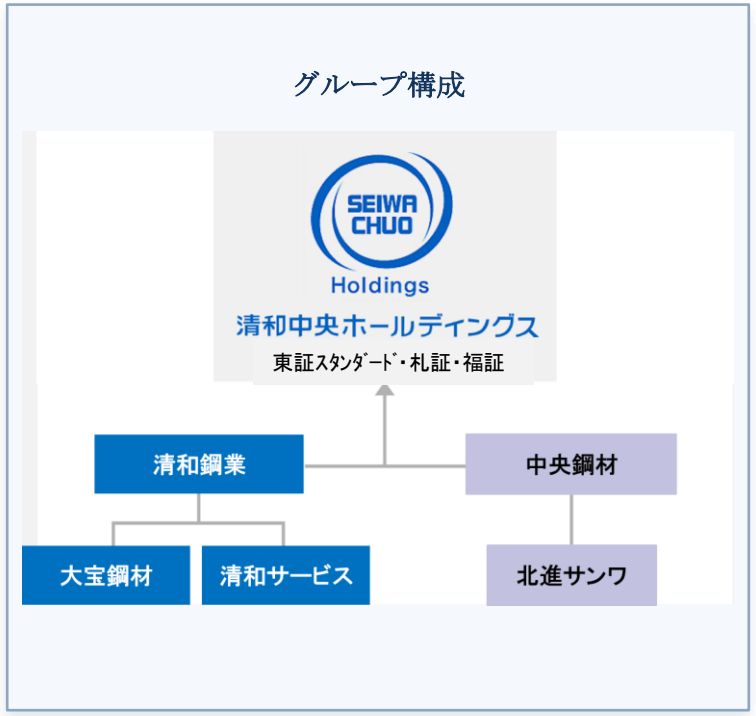
鉄鋼流通を中核とする企業グループ

清和鋼業・中央鋼材を中核に、鉄鋼専門商社として事業を展開

清和中央ホールディングスは、鋼材の販売・加工・物流機能を通じて、建設業・製造業を支える鉄鋼流通グループです。

持株会社としてグループ全体を統括し、各事業会社が地域や機能ごとの強みを活かして鉄鋼流通サービスを提供しています。

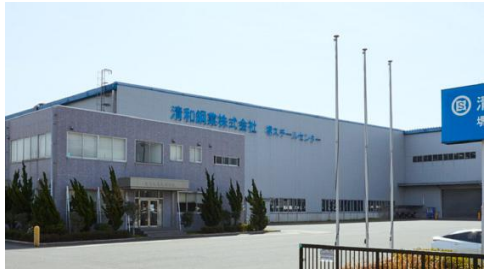
会社名	清和中央ホールディングス株式会社
上場市場	東証スタンダード / 札証本則 / 福証本則
証券コード	7531
事業領域	鋼材 販売・加工・物流



国内事業拠点

清和鋼業　　西日本

中央鋼材　　東日本




本社／清和鋼業 本社


岡山支店



和歌山店


九州支店

中央鋼材

暮らしと産業を支える鉄の用途

鉄は建築物から自動車、産業機械、社会インフラまで、幅広い分野で使われる私たちの暮らしを支える基幹素材です。



建築・建設

ビル・マンション・工場の鉄骨や鉄筋として、建築物の骨組みを支えます。



自動車・輸送機器

自動車の車体やフレーム、鉄道車両・船舶など輸送機器の主要素材です。



産業機械・工具

工作機械や産業設備、各種工具の部材として、ものづくりの現場を支えます。



社会インフラ

橋梁・鉄道・道路・港湾など、社会インフラの整備に欠かせない素材です。

取扱商品

主力鉄鋼商品



H形鋼



山形鋼



溝形鋼



異形棒鋼



熱延鋼板



構造用棒鋼



カラー角パイプ



カラーC形鋼

お客様のニーズに応じた鋼材を扱う「独立系商社」として、豊富な品揃えと確かな材料品質を誇る鋼材を幅広い業種のお客様へ提供しています

商流

鉄鋼流通の商流



仕入先とお客様の双方に価値を提供する、鉄鋼流通としての役割

当社は多くの仕入先と密に連携し、お客様のご要望に細やかにお応えしています。双方向に価値を提供する役割を担い、今後も必要とされるビジネスパートナーであり続けます。



豊富な品揃えと即納対応力

強み①

現物在庫と調達力により、多様な顧客ニーズに対応

幅広い鋼材ラインアップと在庫機能を活かし、顧客が必要とする鋼材を安定的に供給します。



- 幅広い鋼材ラインアップ
- 在庫機能による安定供給
- 必要なタイミングでの即納対応

加工サービスによる付加価値　強み②

加工機能により、顧客の工程短縮と効率化に貢献

切断・穴あけ・溶接等の加工対応を通じて、鋼材販売にとどまらない付加価値を提供します。

- 一次・二次加工からハイレベルな加工まで対応
- 顧客の工程短縮・作業負担の軽減
- 収益性向上につながる領域



物流・在庫機能と地域ネットワーク　強み③

地域密着の拠点網で、顧客に近い鉄鋼流通サービスを提供

西日本・東日本の事業基盤を活かし、地域需要に応じた営業・在庫・物流対応を行っています。



- 西日本・東日本の2極体制
- 地域需要に応じた在庫・物流
- 顧客の現場に近い納期対応

株主還元

安定配当の方針

当社は、鋼材販売という市況の影響を受けやすい業種に属しておりますが、安定した配当を継続することを基本方針としております。事業環境・業績・財務状況等を総合的に勘案しながら、安定配当を基本とした柔軟な株主還元を継続してまいります。

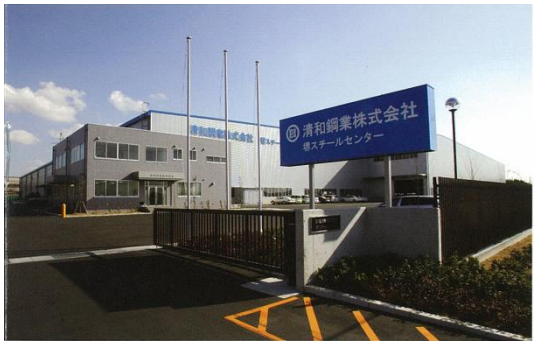
1株あたり配当金推移

期	配当	配当性向
2021年	42円	15.6%
2022年	30円	19.4%
2023年	15円	57.2%
2024年	10円	-
2025年	20円	22.6%
2026年(予)	25円	27.3%

清和中央ホールディングス

私たちは、

ずーっと　取引を続けてよかった
ずーっと　勤め続けてよかった
ずーっと　株主を続けてよかった
と思われる企業を目指します



SEIWA CHUO Holdings

清和中央ホールディングス





※本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後、様々な要因によって異なる場合があります。